

ベタニア たより

呉ベタニアホーム 呉ベタニアホーム長迫 ハレルヤ ユアネーム
tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980 tel:03-6915-1347



呉ハレルヤ会の理念
「人にしてもらいたいと思うことを、
人にもしなさい」 聖書 ルカ6章31節



神の恵みを忘れない



内山 忠信
理 事

今年は、呉ベタニアホーム開設20周年を迎えました。今までの歩みを振り返る時、多くの皆さまのお祈り、様々な御支援職員の働き、居住者、利用者の協力による 것을覚えます。

心から感謝申し上げます。

この時に、心に通う聖書の言葉は、

『我が今の如(ごと)くなるは、
神の恩恵(めぐみ)に由るなり。』

(文語訳・新約聖書 「コリント前書15章10節)

この聖書の言葉は、パウロの言葉です。

パウロは、主イエスを信じる人たちを迫害していました。神に裁かれ、生命を奪われても当然の人でした。パウロはある時、迫害するために、ダマスコに向かっていました。突然天からの光で打倒されました。

ベタニア たより④



故 向井正信先生
安芸津キリスト教会
牧師の向井正信先生
が天に召されました。
94歳でした。

先生は、1971年会堂建設の幻が与えられ、1円献金を始め、全国にハガキを発送され協力を求めました。しかし応答がにぶく、諦めかけていた10年後に、ある女性が満期の保険金100万円(現在の500万円位)を献げられました。その時「向井先生、安芸津に必ず教会は建ちます。信仰持って立ち上がって下さい」と言されました。この事をイエスさまからの励ましと信じ、ご夫妻で祈り続け、1984年暮れ、建築資金の全額が与えられました。それが今の教会です。

先生は身体が不自由でしたが、祈りの人、信仰の人でした。当会の創設当初から信仰による希望と勇気を与えて、大きな推進力となつて下さいました。質素な生活の

中から献金を続けて、私達に模範を示して下さいました。祈り会や理事会に、遠方にも関わらず、ご出席なさいました。

帰路、自動車で送る時間は、私達にとつて貴重な時となり、口常的な悩みを打ち明けると、適切なアドバイスを下さり、「祈つているよ」と励まして下さいました。

奥様、安芸津教会の皆さんのに、神さまの励まし、お慰めをお祈りします。私達も、先生の祈り、信仰を受け継ぎ、さらに進んでいきたいと願つております。ありがとうございました。

「尊厳ある介護」に込めて

統括施設長 里村 佳子

開設記念礼拝のご案内

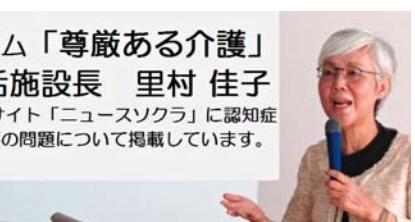
昨年は、法人設立20年、長迫開設10年の記念の年でした。

今年は、呉ベタニアホームが開設されて20年、中通開設5年となります。

ご来会をお待ちしています。

日時：10月14日(日)午後4時より
場所：呉ベタニアホーム3階
講師：松田基子牧師(呉ナザレン教会)

介護で奮闘している家族や介護現場で働いている人たち、そして介護される利用者みんなの尊厳が守られるよう、毎回祈りながら原稿を書いています。



呉ベタニアホーム 検索

社会福祉法人 呉ハレルヤ会 <http://www.bethania.or.jp/>
〒737-0046 広島県呉市中通4丁目9番17号 理事長 佐藤孝義

全く目が見えなくなり、パウロの名前を呼ぶ声が聞こえました。その声は、主イエスの声でした。このことは、パウロにとって驚きの出来事でした。主イエスはパウロに、「自分が神から選された救い主であることを示し、罪からの救いの機会を与えて、主イエスを伝える人」としました。

このことをパウロは生涯忘れませんでした。どんな時も「今の自分になったのは、神の恵み」であることを忘れなかつたのです。

呉ハレルヤ会の営み、20年を越えました。これから将来に向じ、進む時、どのように進んで行けばいいのでしょうか?

①祈ることを忘れない。

創設以前から今も、月一回の祈り会が継続されています。本通りに続いて長迫が開設された時も、5年前ハレルヤが開設された時も、祈って進めて来ました。毎日、様々な事があります、それが、そうした中、今日まで来ることができたのは、祈ることによって進んできたからです。祈りは、呉ハレルヤ会の原動力です。祈りを大切にする呉ハレルヤ会がありますように。祈って進みましょう。

②へりくだつた心を失わない。

呉ハレルヤ会の出発は小さなものでした。

今は開設の時には考えられなかつた規模になりました。こうした結果に至つたのは、関係者の努力、協力、取組の結果です。そして、忘れてはならないのは、全ての背後に神の守り、導き、助けがあつたからです。箇言16章の節に「人は心に自分の道を思ひ巡りす、しかし、主が人の歩みを確かにされる」(新改訳)とあります。

全ての栄光は、神のものです。これまでの歩みは、全ての栄光を神に、おかげとして来ました。これからも「全ての栄光を神におかえしする」へりくだつた心の姿勢を失わないようにしましょう。これこそが、神の恵みにより今があるという生き方です。

③神の恵みを無駄にしない。

パウロが生涯を通して、心がけたのは「神の恵みを無駄にしない」ことでした。「神の恵みを無駄にしない」ようにするには、どうしたらいいのでしょうか。今あることを神に感謝し、神から与えられた賜物(その人にしかない神から与えられた力)で人々に仕えることではないでしょうか。自分で喜ばせる働きではなく、周りの人々に喜び、幸せを届けましょう。

「かしの木ショップ」オープン

4月から、月曜日と木曜日の10時から15時まで、ハレルヤの一階スペースをお貸して、障害者施設「かしの木」の就業支援をしている

高齢者施設と障害者施設が連携することで、は、これから地域共生社会実現に向けて、とても大切なことです。また、市役所通りの活性化にもつながります。

ショップでは、「かしの木」の皆さんを作ったパン、クッキーなどを販売しています。ぜひお来店ください。



中通ハレルヤ
かしの木ショップ
月・木 10時~15時 営業中

新しい呉ベタニアホーム長迫に向けて



呉ベタニアホーム長迫
管理者 村上 賢

この度、私は呉ベタニアホーム長迫の管理者に就任いたしました。平成20年7月に当法人に入社し、介護職員、相談員、介護支援専門員と様々な職種を経験する中で、多くの人の支えもあり、成長することができました。

昨年、呉ベタニアホーム長迫は開設10周年を迎えました。これも皆様のご支援の賜物と、心より感謝しております。

今後ますます高齢化が進む中で、福祉サービスのニーズは増え、地域における施設の役割は大きくなっています。利用者が住み慣れた地域で生きがいを持つて暮らしていくける様に支援し、皆様に信頼され地域社会の福祉拠点として、その一端を担つていきたと考えています。

共に働く職員と研鑽を積み重ね、利用者の半歩後ろから、そつと気持ちに寄り添い、共感して、その人の生活に彩りを添える様なケアを目指し、「ベタニアで良かった」と思える施設づくりをします。

季節と人を彩る作品制作

個別対応デイサービスべたにあ
介護職員 佐々木 芙美子

個別対応デイサービスでは、壁面制作などのレクリエーション活動を通して、利用者の生活意欲を引き出し、自立支援に繋げた事を考えていました。「その人自身」を知る為にも、このような活動は、利用者が周りの人との関係を築く良い機会です。利用者に出来る範囲で参加して頂き、一緒に楽しんでいます。



昼食に楽しみを

デイサービスセンター 呉ベタニアホーム
相談員 前川 芽衣

5月より、デイサービスの食事の内容が変更になりました。

おかげの品が一品増え、食器やお盆も新しいものになりました。利用者の方々からは「箸が持ちやすくなっている」「見ているだけでも、お腹いっぱい」と様々な感想を頂いています。また、食事前に栄養士による食事メニューの効能の説明を行うようになります。動脈硬化予防、腸内環境の改善、疲労回復等、どんな効能があるのか知つてもらい、食事を召し上がって頂いています。

見た目も鮮やかで楽しげ、身体にどのように良いものを、利用者の方々で会話をしながら食事をしておられます。

以前より「ベタニアのご飯は美味しい」と好評でしたが、これからも楽しみに感じて頂けるようになればと思ひます。



ある日の食事
血液サラサラメニュー
・ひじきご飯
・さけのガーリック炒め
・茶わん蒸し
・すまし汁
・オレンジ